



# 石毛くにゆき県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

## 千葉県の持続的発展を求めて!

### 自民党代表質問に登壇 知事の政治姿勢を問う

銚子市選出で県議4期目の半ばを迎え、県議会の中心的な役割を担う石毛之行(いしげ・くにゆき)県議は、新年度予算案を審議する2月定例会県議会の冒頭で、県政与党の自民党を代表して質問に登壇しました。党県連の政務調査会長を務める石毛議員は、自民党の代表質問には早くも4度目の登壇となり、2期目の最後を迎える森田知事に対し、「知事自ら4年間をどのように評価しているのか」などの政治姿勢をたどしました。また、広域幹線道路ネットワークの整備や、農林水産業の活性化など、県政全般の諸問題を取り上げました。

#### 知事の評価

**石毛議員** 初めに、知事の政治姿勢について伺います。知事はこの4年間、「くらし満足度日本一」の実現に向けてさまざまな施策を推進されました。そこで、まだまだ道半ばの政策もあると思いますが、まず、森田知事に、2期目の4年間をどのように評価しているのか、伺います。

**森田知事** 私はこの4年間、1期目に引き続き、県議会の皆さま方をはじめ、市町村、関係団体のご理解とご協力をいただきながら、総合計画「新輝け！ちば元気プラン」に掲げたまさまざまな施策に全力で取り組み、県民のくらし満足度の向上に邁進してまいりました。



自民党を代表し、知事の政治姿勢を問う石毛議員

人とモノの流れを加速させ、特に災害時に重要な道路ネットワーク

#### 2月県議会代表質問から

#### 千葉の強み

**石毛議員** 今後の県政運営について、どうあるべきと考えているのか。  
**森田知事** これまでの結果を踏まえ、今後の4年間は「千葉の強み」を最大限に生かし、世界の千葉県に向けて、大きく飛躍させる大切な時期になると考えています。そしてまた、県民、特に未来を担う今の子供たちが、より「千葉県に誇りと自信を持つことができ、夢と未来へ希望を抱けるような次世代へ光り輝く日本一千葉

#### 骨格予算

**石毛議員** 骨格予算となる平成29年度当初予算は、どのような考え方で編成したのか。  
**森田知事** 平成29年度は、県税の減収が見込まれる中、公債費や社会保障費が増加することから、大変厳しい財政状況となることが見込まれます。今回の当初予算では、人件費や社会保障費等の義務的経費のほか、医療・福祉や子育て支援などの県民生活に密接に係る事業については、年度当初から県民サービスができるよう、必要な予算を計上しました。

#### 要望

**要望** 本県の持続的発展のため、自主財源をいかに増やしていくかということから、企業誘致をはじめ、中小企業や農林水産業の活性化、産業基盤である幹線道路網の整備などは欠かせないものであり、建設地方債の発行についても、費用対効果や地方債残高とのバランスも考えながら取り組んでいただきたい。

#### 防災計画

**石毛議員** 地域防災計画について、どのような点に着目して見直しをするのか。  
**高橋副知事** 今回の見直しは、災害に強い千葉県づくりを進めるため、最新の地震被害想定調査の結果や、熊本地震の教訓などを地域防災計画に反映しようとするものです。具体的には、新たな減災目標を設定するとともに、住民が主体となった避難所運営の促進や、避難所までの着実な物資輸送対策、県職員派遣による被災市町村への支援体制の整備などを盛り込むことを考えています。

●県政と銚子市のご相談、ご要望をお聞かせください

**石毛くにゆき 県事務所**  
〒288-0817 銚子市清川町2-6-16  
TEL 0479-24-1716 FAX 0479-24-1753

# 幹線道路網の整備で県内活性化!

## 銚子連絡道などアクセス整備も

**石毛議員** 本県の二層の

発展のためには、広域的な幹線道路ネットワークの効果をも県内全域に波及させること、千葉県の魅力を最大限発揮させることができることを確信しております。そこで、伺います。広域的な幹線道路ネットワークの整備状況はどうか。また、幹線道路ネットワークの効果を県内全域に波及させるため、どのように取り組んでいるのか。

**森田知事** 県内外とのス

ムーズな人とモノの流れを強化し、生産性向上や防災力の強化を図るため、圏央道や外環道、北千葉道路などの広域的な幹線道路ネットワークの整備に努めています。このうち、圏央道の大栄・横芝間については、用地取得の進捗率が5割を超えており、早期に工事着手できるように、引き続き、国を最

大限支援してまいります。また、外環道については、昨年12月に工事現場を視察し、状況を確認したところ、来年度の開通に向け、着実に整備が進められています。県としては、これらの広域的な幹線道路の整備について、1日も早く開通するよう引き続き、国や東日本高速道路株式会社に協力してまいります。

広域的な幹線道路ネットワークの効果をも県内全域に波及させるため、インターチェンジのアクセス道路の整備が重要だと考えています。このため、県では東総地域や外房地域からそれぞれ圏央道にアクセスする銚子連絡道路、長生グリーンライン及び国道297号、さらに南房総地域の中央部を縦断する国道410号などの整備を重点的に推進しています。



自席から再質問と要望をする石毛議員

## 元気な農業へ支援策

**石毛議員** 農業が盛んな

本県では、農業が元気になることにより地域に活力が生まれ、千葉県の元気につながるものと思います。農業者が将来にわたり、希望を持って農業を継続できるように、農業産出額の一層の向上のための取り組みをさらに進めるべきではないでしょうか。今後、農業産出額の向上に向け、どのように取り組んでいくのか、伺います。

**森田知事** 本県農林水

産業をさらに発展させ、農業産出額の向上を図るためには、戦略的な産地強化と、高収益型農業への転換を進めていくことが重要です。

そこで県では、

○量販店等の大口需要に対応するため、本県主力野菜の品目別協議会の設置などによる産地間連携の強化

○農作業の省力化のための機械化や、作物の安定生産・品質向上を図る施設化の推進

○土地改良事業や農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積

○畜産経営の規模拡大や効率化を図る畜産クラスター事業の推進

などに、農業者や関係団体と一体となって「オール千葉」体制で取り組んでいるところであります。

## 効率的漁船の新導入

**石毛議員** 漁業の活力を

取り戻すためには、基盤となる漁船をより生産性の高い漁船に更新することで、効率的な操業が可能となり、収益性の高い漁業への転換を図ることができると考えます。

そこで伺います。県では、

漁業生産の基盤となる漁船の更新をどのように推進しているのか。

**高橋副知事** 県では、国

とともに、まき網漁船や底びき網漁船に対し、燃費の向上や省力化などにより、操業効率を高めた漁船の新規導入を支援してきました。また、今年度度からは県漁業協同組合連合会などとともに、沿岸小型船の更新を推進する漁船リース事業の対象要件や手続きなどの方針を定め、実施体制を整えるとともに、漁船建造費の利子補給の支援にも取り組んでいるところであります。

## 中小企業の活性化

**石毛議員** 県内経済を

支える中小企業の活性化に向けて、どのように取り組んでいくのか。

**森田知事** 千葉県の優位

性を、地域経済の活性化に著実につなげていくことが重要で、このため広域の商談会の開催や、新商品の開発への支援などを通じ、中小企業の新たな販路獲得や新

事業への参入などを促進してまいります。さらに、そのような積極的な事業展開を進める上で必要となる人材の確保・育成や経営革新への支援等の充実を図り、県内企業の99.8%を占める中小企業の生産性向上を促進し、県内全域で地域経済の好循環が進むよう、全力で取り組んでまいります。

## 児童虐待防止条例

**石毛議員** 昨年12月県

議会で、わが党が中心になつて提出した「千葉県子どもを虐待から守る条例」が、議員の皆様のご賛同をいただき制定されたところであります。

そこで、この条例を踏まえ、来年度からどのように児童虐待防止対策の充実に取り組んでいくのか。

**森田知事** 児童虐待相談件数の増加に対応するた

めて、児童虐待対応の中心的な役割を担う児童福祉司を、今後5年間で計画的に約200名増員し、児童相談所の体制を強化してまいります。

**要望** すべての子どもが虐待から守られ、幸せを実感しながら成長できる千葉県を目指して取り組んでいただくようお願いいたします。

## 小児救急電話相談

**石毛議員** 周産

期・小児医療体制の充実について、小児救急電話相談の効果をもより高めるため、どのような体制で行っているのか。

**諸橋副知事** 小

児救急電話相談の効果をもより高めるためには、病状に対する助言だけでなく、必要に応じて適切な受診先の紹介ができるなど、保護者に寄り添った相談体制を提供することが重要です。

そこで県では、県内の医療の実情に精通している県医師会に委託して、看護師及び小児科医による電話相談を実施しており、今年度からは、相談時間を翌朝6時まで延長したところであります。

また、相談員のスキルアップを図るため、県医師会などによる研修会を行い、緊急時の適切な受診判断や搬送先の紹介などを行っています。